

第133回

# 東北大学 金属材料研究所 講演会

事前申し込み不要  
聴講無料

日時 2017年5月26日(金)

場所 金属材料研究所2号館講堂

実行委員 正橋直哉、木口賢紀

午前 10:00~12:10

10:00~10:10 所長挨拶

所長 高梨弘毅

一般講演(所内教員)

10:10~10:50

発光分光分析用プラズマの  
励起機構

教授 我妻和明



10:50~11:30

強磁場量子ビーム科学の最近の  
進展—パルス光源が開く新地平

教授 野尻浩之



11:30~12:10

スピン流の科学  
—電子の自転を利用した  
新しいサイエンス

教授 齊藤英治



午後 13:30~19:30

特別講演

13:30~14:30

日本のロケットの現状と将来計画

名古屋大学大学院工学研究科  
フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム

特任教授 小林 実



ロケットの成功率は一般的に97%程度で、油断をすると失敗します。連続成功をさせるために現場でどのような努力をしているかを紹介いたします。確かなものづくりに繋がる話と思います。さらに今のH-2A,Bの課題、及びそれらを克服するために次期基幹ロケットH3ロケットを開発しています(2020年打ち上げ予定)が、その目指すところを紹介いたします。

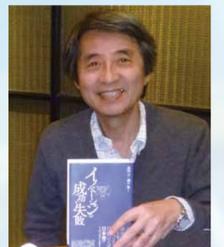
**プロフィール** 1973年名古屋大学工学部航空学科修士課程を修了後、三菱重工名古屋航空宇宙システム製作所に入社。以降約30年間、ロケット等の宇宙機器の設計開発に従事。専門は構造及び全機システム設計。2003年からは三菱重工本社宇宙機器部長として、H-A6号機の失敗対策を担当。2005年から関連会社役員。2013年から名古屋大学で現職。

14:40~15:40

金研が「イノベーション」を起動するには  
—市場原理を活用して「世の中に貢献する」みちすじ—

T2Bコンサルタント(元ソニー株式会社 技術戦略部統括部長)

武田 立



「イノベーション」という単語がマスコミに登場しない日は無いと言っても過言ではないのに、日本では「イノベーション」がここしばらく起きていない。日本でも「イノベーション」を起こすようにするには、「イノベーション」の真の意味の理解と、その構造を理解する必要がある。これが当日の主題である。

**プロフィール** 1974年からNTT武蔵野通研で記憶装置の開発に従事、ISO/IEC/SC23光ディスク標準化WG委員等歴任。1992年ソニー(株)入社、PC周辺機の開発等に従事、2006年から同本社技術戦略部統括部長、新規技術開発案件の改廃等を担当。2013年東北大学特任教授、2015年東北大学ベンチャーパートナーズ(株)設立/勤務、2016年退職・独立。工学博士。

15:50~17:30 ポスターセッション

18:00~19:30 ポスター賞表彰式



お問い合わせ先

金属材料研究所 情報企画室 広報班

TEL 022-215-2144 URL <http://www.imr.tohoku.ac.jp/>

E-MAIL [k.kouen@imr.tohoku.ac.jp](mailto:k.kouen@imr.tohoku.ac.jp)

133回 金研講演会

検索